

## 2015年度 第1回 動物実験委員会議事録

日 時 2015年12月24日 木曜日 10:00～10:52  
場 所 小会議室  
出席者 谷川委員長、尾上副委員長、清末、浅野、田川  
陪席者 小川

### 報告事項

#### 1. 動物実験記録及び実験動物管理記録について

谷川委員長の指名により、清末教授から資料1及び追加配付資料に沿って報告がなされ、2014年度の動物実験が、法及び飼養保管基準を踏まえて適切に実施されたことを確認した。

##### (1) 動物実験記録・動物実験終了報告書

###### ①受付番号：2014年度 第1号

- ・ 申請者名：保健福祉学部 栄養学科 清末達人 教授
- ・ 研究課題名：ラットの解剖

###### ②受付番号：2014年度 第2号

- ・ 申請者名：保健福祉学部 栄養学科 清末達人 教授
- ・ 研究課題名：ラット消化管摘出標本を用いた糖の消化・吸収実習

##### (2) 実験動物管理記録

- ・ 2014年度に飼養保管した実験動物の種類、匹数等について

### 審議事項

#### 1. 動物実験計画について

##### (1) 受付番号：2015年度 第1号

- ・ 申請者名：保健福祉学部 栄養学科 清末達人 教授
- ・ 研究課題名：ラット消化管摘出標本を用いた糖の消化・吸収実習
- ・ 審査結果：条件付き承認

①研究期間を明確に記載すること。

##### (2) 受付番号：2015年度 第2号

- ・ 申請者名：保健福祉学部 栄養学科 清末達人 教授
- ・ 研究課題名：ラットの解剖
- ・ 審査結果：条件付き承認

①研究期間を明確に記載すること。

#### 2. 外部検証（第三者評価）について

資料3「動物実験に関する外部検証事業（第2期検証プログラム）」及び「外部検証実施要領」に基づき、動物実験に関する外部検証の申請について意見交換を行った。

- ・ 文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」には、動物実験の実施体制が基本指針に適合していることを自己点検・評価し、外部の者による検証に努めることが規定されている。
- ・ 日本学術会議の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」には、同基準の遵守状況について点検を行い、その結果の公表及び点検結果について、外部機関等による検証が求められている。

意見交換の後、次のことを確認した。

- ・ 2016年度に外部検証の申請を行う方向で検討を進める。
- ・ 外部検証の実施体制、方法、手順等について、委員の共通認識を持つために、研修会を実施する。
- ・ 本学における動物実験の実態を確認するために、動物実験委員会による動物実験施設等の視察を行う。視察の日時は、2016年1月12日（火）13時とする。

## 2. 動物実験実施者に対する研修について

谷川委員長から、動物実験規程第15条には、「学長は、動物実験実施者及び飼養者に対し、動物実験及び実験動物の飼養保管を適切に実施するために必要な教育的措置を講じなければならない。」と定められているので、動物実験委員を対象とした研修会を実施したい旨の説明がなされ、次のことを確認した。

- ・ 研修会日時 2016年1月21日（木）16時から17時
- ・ 研修内容 動物実験に関する外部検証について

## その他

### 1. 動物実験に係る緊急時の対応について

2014年度に策定した「西南女学院大学 動物実験に係る緊急時への備えと対応」について、その内容を各委員が再度確認するとともに、緊急時の備えが適切に整備されているかを確認することとした。

以上

記録 小川 尚